

11pt 中央揃え  
名字と名前の間は半角スペース  
所属の括弧は全角  
発表者が複数の場合は、  
中黒（・）で横に続ける

# 発表タイトル —サブタイトル—

共に明朝体/ Times New Roman  
16pt ボールド体 中央揃え  
申し込み時のタイトルから変えないこと

一行あけ  
姓 名 (所属) ・ 姓 名 (所属)

一行あけ  
キーワード：キーワードA, キーワードB, キーワードC

キーワード3つ  
全角カンマ区切り  
11pt 中央揃え

## 1. はじめに

これは予稿集に掲載される原稿のテンプレートです。以下の執筆要領に従って書くか、もしくはこの文書を保存して使用してください。テンプレートの発表タイトルや発表者名、見出し、本文などそれぞれの場所にカーソルを合わせてそのまま入力すれば、簡単に共通のスタイルで原稿ができるようになっています。不要な部分は削除してください。

セクション間は一行あけ

## 2. 執筆要領

### (1) 書式

原稿はPC（ワープロソフト）を用いて作成してください。和文、英文ともにA4判用紙を使用し、図、表、引用文献全てを含めて2ページとします。マージン（余白）は上下左右すべて25mmとし、基本フォントは明朝体（和文）、Times New Roman（英文・英数字）とし、基本文字サイズは11ポイントとします。また、1ページは48行、各行の行間を1行とし（行間の調整はしないでください）、各行の文字数は全角で41文字、インデントは、和文の場合は全角1文字空白スペース、英文の場合は半角3文字空白スペースを基本としてください。ファイル提出の際には、Wordとpdfの両方をご提出ください。執筆要領から逸脱している場合、編集委員会で修正、あるいは執筆者に差し戻しの上、再提出を依頼することがあります。

### (2) 項目

原稿には次の項目を含めてください。

- タイトル： 16ポイントのボールド体。中央揃え。2行以上にまたがる場合は、行間が広くなりすぎないように注意。サブタイトルは16ポイントのボールド体、前後をダッシュ（—）で囲み（英文ではコロン（:）を使用）、発表タイトルの次の行から始める。
- 発表者情報： 11ポイント。中央揃え。タイトルから1行あけて（11ポイント、以下行をあける場合は同じ）氏名（所属）の形式で。複数の場合中黒（・）で横に並べる。
- キーワード： 11ポイント。中央揃え。発表者情報から1行あけて、カンマで区切る。
- 本文： 11ポイント。キーワードの下1行あけて本文を始める。見出しはボールド体にする。(1)以下などのサブ見出しはボールド体にしない。以下和文での句読点は（、）と（。）を基本とする。
- 引用文献： 11ポイント。原稿内で引用した文献の一覧。

### (3) 提出、問い合わせ先

提出の際には、次の項目に注意してください。

- 原稿の提出には北海道研究大会ウェブサイト上の予稿集原稿提出フォームを使用し、ファイル（Wordとpdf）を添付して、提出すること。
- ファイル名は、半角小文字で発表（代表）者の名字と名前を使用すること。例えば、「北海五郎」の場合、ファイル名は、hokkaigoro.docx、hokkaigoro.pdfとなる。
- 締め切りは、6月11日（土）23時59分（日本時間）。送信後、受領した旨の返信メールが自動送信されるので確認のこと。ファイルを送信した2日後になっても受領のお知らせメールが届かない場合、また、その他予稿集原稿に関する質問等がある場合は、北海道研究大会ウェブサイトの「問い合わせ先」から問い合わせのこと。
- その他
- 研究発表においては、「結果は、当日口頭にて発表する。」という要旨の構成は避け、「研究結果」もはっきり記述されている要旨の構成を心掛けること。

- ・ 様式不備や誤りのないよう、十分に注意すること(英文の場合要ネイティブチェック)。
- ・ タイトル・氏名(所属)・予稿原稿の使用言語[日本語/英語]は、口頭発表時の使用言語に準じること。所属の書き方は下記参照。英語表記は所属機関指定のものか下記参照。
  - ◆ 教員(小・中・高・大の専任または非常勤)の場合
    - ※ 学部名やセンター名などの詳細な所属の記載は不要。
    - ※ 非常勤の場合でも(非)とは記載しないこと。
  - A. 県立・市立、都/府/道立などの場合
    - (a) 公立小学校・中学校の場合、市町村名、都道府県名を含めて記載
      - 北海道札幌市立海鮮小学校 Kaisen Elementary School, Sapporo, Hokkaido
      - 北海道札幌市立海鮮中学校 Kaisen Junior High School, Sapporo, Hokkaido
    - (b) 公立高等学校の場合
      - 北海道立海鮮高等学校 Hokkaido Prefectural Kaisen Senior High School
      - 札幌市立海鮮高等学校 Sapporo Municipal Kaisen Senior High School
      - 東京都立れいわ高等学校 Tokyo Metropolitan Reiwa Senior High School
  - B. 国立や私立の場合、都道府県名は不要、学校指定の英語表記にする:(d)~(e)参照
  - C. 私立学校の場合
    - 札幌学園高等学校 Sapporo Gakuen High School
  - D. 国立大学や私立大学の附属学校等の場合
    - 北海道大学教育学部附属札幌中学校  
Sapporo Junior High School Attached to the Faculty of Education, Hokkaido University
    - 札幌学園大学高等学校 Spporo Gakuen University Senior High School
  - C. 大学の場合、大学指定の英語表記に従う。
  - ◆ 大学院所属の専任・特任教員・非常勤の場合
    - 北海道科学大学大学院 Graduate School, Hokkaido University of Science
  - ◆ 大学院生(修士・博士課程)の場合 ※修士課程と博士課程の区別はしない。
    - 北海道科学大学大学院生 Graduate Student, Hokkaido University of Science
  - ◆ 現職教員で、かつ大学院生である場合
    - 勤務先か所属大学院名のどちらか一方のみ(発表申込時に入力した所属と同一のもの)を記載することとし、併記しないこと。

### 一行あけ

#### 3. 謝辞

謝辞を入れる必要がある場合は、引用文献の前に置いて見出しに連番を振る。

### 一行あけ

#### 4. 引用文献

*Publication Manual of the American Psychological Association (7th ed.)*. (American Psychological Association, 2019)に準拠する。文献は本文中に記載されたものに限る。**2行以上にわたる場合は、2行目以降はぶら下げ全角2文字とする。**

【記載例】※日本語文献をア行順で出し、続けて英語文献をアルファベット順で出す。

北海太郎 (2015). 「中学校外国語科における Critical thinking の育成—ワークシート活用による意識の高揚—」『北海道英語教育学会紀要』第2号, 12-19.

札幌太郎 (2014). 『小学校外国語活動 実践のコツ』英語教育書房.

Canale, M., & Swain, M. (1980). Theoretical bases of communicative approaches to second language teaching and testing. *Applied Linguistics*, 1(1), 1-47. <https://doi.org/10.1093/applin/1.1.1>

**2行以上にわたる場合は、2行目以降はぶら下げ全角2文字**